

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル宇都宮店			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日 ~			2025年9月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年9月1日 ~			2025年9月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時やサービス記録表などでお子様の様子を保護者にお伝えする中で、お子様に合った適切な支援が行えているのか保護者の方が確認できるようにしている。	研修を踏まえて支援について学びながら、それぞれの職員が工夫しながら支援を行ったり、また、レクリエーションの中でもお子様の課題について支援を行うことができるよう工夫を行っている。	ご家族の方が気軽に相談できるような体制を整えることによって、お子様の適切な支援内容の設定に繋げられるように心掛けていきたい。
2	保護者様からご心配事や困りごとなどを伺った時など、すぐにご対応させていただくようにしている。	保護者様だけではなく、お子様自身が悩んでいらっしゃる様子がある時には、安心できる環境を整える事によって話しやすい場を提供し、すぐに対応している。	保護者様が気軽に相談できるよう職員の方から言葉かけをしたり、お子様が安心して相談できるよう職員の支援の方法を工夫し、また相談があった場合はその情報を職員間でも共有しすぐに対応していきたい。
3	サービス提供記録を用いて日々の活動の様子をお伝えしたり、ホームページなどにイベントの様子を掲載している。	毎月のレクリエーションカレンダーをお届けすることで、どのような活動を行うのかをお伝えし、サービス提供記録を活用して活動の様子を確認していくだけるようにしている。	ご利用の際に記録しているサービス提供記録でその日の活動内容の詳細をお伝えしたり、会社のホームページで行事などの情報を発信することで、どのような支援が行われているのかの情報発信を工夫していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまり行うことが出来ていない。	学童や支援学校、また地域とのやり取りを行う機会をあまり持つことが出来ていない。	日頃から、地域の方との関わりを大切にし、地域への活動の参加など連携出来ることを検討していきます。また、保護者様からご意見をいただきながら、保護者様が必要と考えている交流の方法などについて改めて検討してきたいと思います。
2	日々の支援の情報をサービス提供記録にてお伝えするにとどまっている。	お子様向けの支援が中心となっており、保護者様やご家族向けの研修会の実施やご家族への情報提供などを企画できていない。	保護者様やご家族の方も参加できるような研修を計画したり、保護者様へも参加できるようなレクリエーションを実施する中で保護者様やご家族様への情報提供の方法を検討していきます。
3	保護者様同士の交流の機会を持つことが難しい。	事業所で行っている活動やレクリエーションで取り組んでいる様々な活動がお子様を中心に組み立てているため。	土曜・祝日、また長期休暇などをを利用して、ご家族様(保護者様やきょううだいの方など)も交流できる機会を少しでも作っていくことができるようになります。また、保護者様のニーズを把握し、そのニーズに見合った交流の機会を検討していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル小山店			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日 ~			2025年9月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年9月1日 ~			2025年9月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日、室内の清掃や物品の消毒を行うことでお子様が心地よく過ごすことができるよう配慮し、また活動によってフロアの備品を整理・整備している。	日頃の清潔に配慮するだけではなく、活動を行う際にその活動に見合ったフロアの環境作りを行う等、お子様が安心して過ごすことができるよう工夫している。	保護者の方や職員の意見を取り入れながら、活動ごとに環境の見直しを行い、お子様が過ごす生活空間を整えていきたい。
2	見学や契約の際に、事業所の詳細や、事業所での活動内容について説明している。	契約の書類なども訂正に説明したり、できるだけ平易な表現での事業所の説明したりすることを心掛けている。	事業所のパンフレットなども活用し、言葉だけではなく視覚的な情報も役立てながら事業所利用についての説明を行うことができるよう心掛けたい。
3	契約の際などに、事故発生時の対応についてご説明できるようにしている。	保護者様からのご要望があった時には、速やかに事故発生時の対応などについてご説明するようにしている。	事業所で作成、使用している事故発生時のフローチャートについて、改めて職員間でも共有し、必要に応じて、保護者様へもご要望があった際にはいつでもご説明できるように努めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまり行うことが出来ていない。	学童や支援学校、また地域とのやり取りを行う機会をあまり持つことが出来ていない。	日頃から、地域の方との関わりを大切にし、地域への活動の参加など連携出来ることを検討していきます。また、保護者様からご意見をいただきながら、保護者様が必要と考えている交流の方法などについて改めて検討していきたいと思います。
2	日々の支援の情報をサービス提供記録にてお伝えするにとどまっている。	お子様向けの支援が中心となっており、保護者様やご家族向けの研修会の実施やご家族への情報提供などを企画できていない。	保護者様やご家族の方も参加できるような研修を計画したり、保護者様へも参加できるようなレクリエーションを実施する中で保護者様やご家族様への情報提供の方法を検討していきます。
3	保護者様同士の交流の機会を持つことが難しい。	事業所で行っている活動やレクリエーションで取り組んでいる様々な活動がお子様を中心に組み立てているため。	土曜・祝日、また長期休暇などをを利用して、ご家族様(保護者様やきょううだいの方など)も交流できる機会を少しでも作っていくことができるようになります。また、保護者様のニーズを把握し、そのニーズに見合った交流の機会を検討していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル船橋		
○保護者評価実施期間	2025.11.19 ~ 2025.11.30		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025.11.19 ~ 2025.11.30		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025.12.3		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日、室内の清掃や物品の消毒を行うことでお子様が心地よく過ごすことができるよう配慮し、また活動によってフロアの備品を整理・整備している。	日頃の清潔に配慮するだけではなく、活動を行う際にその活動に見合ったフロアの環境作りを行う等、お子様が安心して過ごすことができるよう工夫している。	保護者の方や職員の意見を取り入れながら、活動ごとに環境の見直しを行い、お子様が過ごす生活空間を整えていきたい。
2	送迎時やサービス記録表などでお子様の様子を保護者にお伝えする中で、お子様に合った適切な支援が行えているのか保護者の方が確認できるようにしている。	研修を踏まえて支援について学びながら、それぞれの職員が工夫しながら支援を行ったり、また、活動の中でもお子様の課題について支援を行なうことができるよう工夫を行っている。	ご家族の方が気軽に相談できるような体制を整えることによって、お子様の適切な支援内容の設定に繋げられるように心掛けていきたい。
3	契約の際などに、事故発生時の対応についてご説明できるようにしている。	保護者様からのご要望があった時には、速やかに事故発生時の対応などについてご説明するようにしている。	事業所で作成、使用している事故発生時のフローチャートについて、改めて職員間でも共有し、必要に応じて、保護者様へもご要望があった際にはいつでもご説明できるように努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまり行なうことが出来ていない。	ルームや支援学校、また地域とのやり取りを行う機会をあまり持つことが出来ていない。	日頃から、地域の方との関わりを大切にし、地域への活動の参加など連携出来ることを検討していきます。また、保護者様からご意見をいただきながら、保護者様が必要と考えている交流の方法などについて改めて検討してみたいと思います。
2	日々の支援の情報をサービス提供記録にてお伝えするにとどまっている。	お子様向けの支援が中心となっており、保護者様やご家族向けの研修会の実施やご家族への情報提供などを企画できていない。	保護者様やご家族の方も参加できるような研修を計画したり、保護者様へも参加できるようなレクリエーションを実施する中で保護者様やご家族様への情報提供の方法を検討していきます。
3	保護者様同士の交流の機会を持つことが難しい。	事業所で行っている活動やレクリエーションで取り組んでいる様々な活動がお子様を中心に組み立てているため。	土曜・祝日、また長期休暇などをを利用して、ご家族様(保護者様やきょうだいの方など)も交流できる機会を少しでも作っていくことができるようにします。また、保護者様のニーズを把握し、そのニーズに見合った交流の機会を検討していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル西宮			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 19日 ~ 2025年 12月 6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 8日 ~ 2024年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの保護者のニーズや課題が客観的に分析されて上で個別支援計画案が作成され、計画に沿った支援が行われているところ。	職員同士、子どもの様子や保護者からの話を共有する時間を多く持つようにしている。	定期的に話し合いの場を作り、職員間の連携を図れるようにしていく。
2	日頃から家庭との連絡を密にし、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているところ。	送迎の際に子どもの様子を話したり、連絡ツールを使い連絡がいつでも取ることができるようにしている。	保護者や子どもが安心して通えるように、相談しやすい環境を整えていく。
3	子どもたちが安心感を持って来所しているとともに、事業所の支援に満足していただいていること。	一人一人の気持ちを受け止めながら、安心して来所できるよう配慮している。また、プログラムの工夫や長期休暇時にはイベントを開催し、楽しく活動に参加できるよう工夫している。	プログラムがバターン化しないよう、新しいことも取り入れながら楽しく活動に取り組めるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校、他事業所との連携があまりできていない。	こちらが積極的に学校や他事業所と連携できるように動けていない。	情報共有したいことがあったり、聞きたいことがあればこちらから連絡を密に出来る取り組みを行う。
2	避難訓練等、事業所で行っている活動について保護者への情報発信ができていない。	普段の活動においてブログや個別記録にて発信をしているが、見ていない人もいる。	事前に連絡ツールで活動をすることを知らせ、周知出来るようにする
3	保護者様同士の交流の機会を持ってもらうことが難しい。	事業所で行っている活動やリクリエーションで取り組んでいる様々な活動がお子さまを中心に組み立てているため。	土曜・祝日、また、長期休暇などをを利用して、ご家族様（保護者様やきょうだい）も交流できる機会を少しでも作っていくことができるようになります。また、保護者のニーズを把握し、そのニーズに合った交流の機会を検討していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフル神戸北			
○保護者評価実施期間	2025年10月10日 ~			2025年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年10月10日 ~			2025年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びや活動を通して「楽しい」と感じられる工夫を取り入れ、意欲的に集団及び個別活動に意欲的に参加しながら自然に社会性や自信を育んでいる。	遊びや活動に「楽しい」要素を取り入れ、利用者が主体的に参加できるよう工夫しながら自然に社会性や達成感を得られる支援を行っている。特に自由時間を重視しており個々のやりたいことをスタッフができるだけ協力して支援している。	活動内容の幅を広げ、公園、工場見学、博物館など社会見学など多くの機会を設けている。美術教員のスタッフがいるので季節を感じる製作にも力を入れています。クッキングでは利用者の意見を取り入れてメニュー決めをしています。
2	利用者の気持ちや行動の変化を丁寧に見取り、挑戦する姿勢を認める前向きな声かけを心がけている。そうすることで事業所やスタッフに対する安心感と、自信がないことにもチャレンジする強い精神の育成につなげている。	利用者の小さな変化や努力を見逃さず、挑戦する過程を認める前向きな声かけを行い、安心して新しいことや少しハードルが高いことに取り組める関係を意識している。	職員間で声かけの視点を共有し、利用者一人ひとりに合った関わりを深めることで、自己肯定感とチャレンジ精神のさらなる育成を目指す。
3	来所後すぐに宿題に取り組む流れを定着させ、個々の理解に応じた支援で学習習慣の安定と達成感につなげている。また火曜日は英語レッスンを導入。英語への抵抗感を減らし楽しみながら取り組めるよう工夫している。	当日の利用者の担当スタッフを決め学習支援を行う。基本的にはお迎えドライバーが担当する。来所後すぐに学習に入る流れを整える。オリジナルの宿題カードを利用しシールを貼り、貯まったらおもちゃと交換。努力を見る化して評価する。	個々の理解度や特性に応じた学習方法の工夫を進めながら苦手意識などを軽減し、宿題支援や英語活動を通して学習意欲の向上に繋げる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの入れ替わりが頻繁で安定しない	スタッフの教育や情報共有、日常的なコミュニケーション不足により不安感があり定着しにく状況。現在児発管が不在ということも大きな要因の一つである。	教育体制の見直しと引き継ぎの仕組みを整備し、定期的なミーティングの開催を徹底、またできる限り1日の振り返りをする場を設け情報共有とコミュニケーションの活性化を図る。
2	運動プログラムが曖昧である	運動療育の専門的知識や評価視点が不足し、目的や効果を十分に整理また共有ができていない。	4月より専門トレーナーを配置し、運動療育の目的や効果を整理し、プログラム内容の充実を図る。
3	スタッフに未経験者が多く、療育に対しての方向性を統一することが困難である	人手不足も重なり経験の浅い職員が多く、支援の統一が困難な状況である。	早急に児発管の採用を進め、当面は管理者が療育方針を示しスタッフ間で共有・再認識を行う。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サカフルハ王子		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの出来ることを増やすように、学校や学童など普段の生活姿を共有し、子どもに合わせた支援を作成している。	送迎時に保護者とのコミュニケーションを取る前に職員同士での子どもの様子を共有している。	色々な視点からの意見を取り入れ、素早く柔軟に対応できるように都度子どもの情報を細かく共有していきたいと思います。
2	子どもたちの練習や支援に対してのモチベーション向上のために、定期的にイベントを企画し、普段の支援とは別の楽しみを作っている。	季節に合わせたイベントはもちろん、普段の祝日などでもイベントを組んだりしている。普段のサッカーで取れないコミュニケーションの取り方が出来るように心掛けている。	飽きないように新しいイベントを取り組んでいこうと思います。
3	活動しやすい環境を作りをしている。	限られた活動スペースなので、日々整理整頓をしている。子ども達自身にも意識してもらうことで日々の生活スキルアップへと繋げている。	限られた活動スペースなので、日々整理整頓を心掛けている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまり行うことが出来ていない。	地域との活動が増えることで事業所に対する理解が得られる。	地域の方との関わりの機会を設け、地域への活動の参加など連携出来ることを検討する。また、保護者様からご意見をいただきながら、プライバシーを守りつつ慎重に企画していこうと思います。
2	保護者様同士の交流の機会を持つことが難しい。	交流したい方もいれば身分を隠してみたい方もいるので中々難しい状況にある。	定期的に意志を確認し、プライバシーを守りつつ交流会が出来るように検討します。
3	活動しやすい環境を作りをしているが、室内の狭さが弱みとなっている。	人数が多い場合に室内の狭さが気になる。	雨の日は体育館を借りるなどして対応していこうと思います。